

根こぶ病に強いナバナ新系統「豊前2号」 の育成

豊前分場

1 背景、目的

本県は三重県に次ぐナバナの主産県です。県内では京築地域で栽培が盛んで、水稲後作の重要な品目となっていますが、近年、ナバナの品種である「豊前1号」、「宮内菜」に土壌伝染性の根こぶ病が発生し、大きな問題となっています。根こぶ病は薬剤による防除が困難で、他に有効な防除法がありません。

そこで、根こぶ病に対して抵抗性が強く、収量や品質に優れるナバナの新系統を育成しました。

2 成果の内容、特徴

- 1) ルタバガ品種「WYE」を母親に、豊前分場育成系統「豊前1号」を父親にして、戻し交配育種法により育成した新系統です。
- 2) 根こぶ病に汚染された圃場^{ほじょう}においても、強い抵抗性を示します。
- 3) 「豊前1号」、「宮内菜」より収量が多く、収穫物1本当たりの重量は「豊前1号」より重く、外観品質が優れています。
- 4) 食味は「豊前1号」、「宮内菜」と同程度で、機能性成分であるルテインが多く含まれています。

3 主要なデータなど

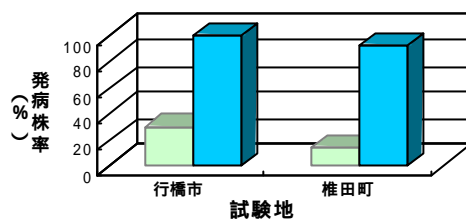


図1 汚染圃場での新系統の根こぶ病 発病株率

■ 豊前2号 ■ 豊前1号



写真1 新系統の収穫物

表1 新系統の収量および品質

品種・系統	収量 (kg/10a)	1本当たり 重量(g)	食味評価		ルテイン含量 (μg/100gFW)	
			総合評価	甘味	1月11日	2月17日
豊前2号	2,636b	24.1b	-0.11ab	-0.13ab	3340	2243
豊前1号	2,327a	20.7a	-0.33a	-0.63a	2894	2060
宮内菜	2,244a	26.0b	+0.67b	+0.38b	2592	1876

注) 1. アルファベットの異文字間にTukeyの検定により5%レベルで有意差あり。

2. 食味総合評価、甘味は基準品種を0とし、-2(総合評価不良、甘味弱)~+2(総合評価良、甘味強)の5段階で評価。

3. ルテイン含量は、1月11日、2月17日に収穫したサンプルについて分析を行った。